



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

宣 言

「冬は元気に外で遊ぼう！」

13 気候変動に
具体的な対策を



SDGs アクション

「気候変動に具体的な対策を」

北海道の冬は、暖房を欠かすことができません。しかし、暖房による温室効果ガスは地球に大きな影響を及ぼしてしまいます。

本校では、雪が降ると休み時間に外に行って遊ぶ子どもが少なくなります。雪を生かして楽しく遊ぶことで、自然と外に行きたくなる気持ちを育てていこうと考えました。

低学年は、生活科の学習を通して外で遊ぶことを、またスキー学習が終わった後は、スキーで使った山を使ったそり滑りに取り組みました。

たくさん外にいて遊ぶことで、冬にしか遊ぶことができない雪を満喫するとともに、部屋を出る機会を増やすことで無駄な暖房を使わないことにもつながるのではないかと考えました。



成 果

外で遊ぶ取組を通して、子どもたちは自分から向かう様子が多くみられるようになりました。たくさん遊ぶことで、体が温かくなり、すぐに暖房に頼ろうとする様子は少なくなりました。

次年度の取組に向けて

雪についての取組にとどまることなく、子どもの主体性を大切に、やってみたいことに行動できるよう委員会をはじめ学級ごとに考える機会をさらに設けていきたいと思います。